

草筆木筆で描く不思議のらん人たち

草画帖 40



パ
ー
ル
7
号



Sabar

Picca

Jamm

木筆の第一号。
三本のバオバブの形見です。
表紙・号名はJamm。

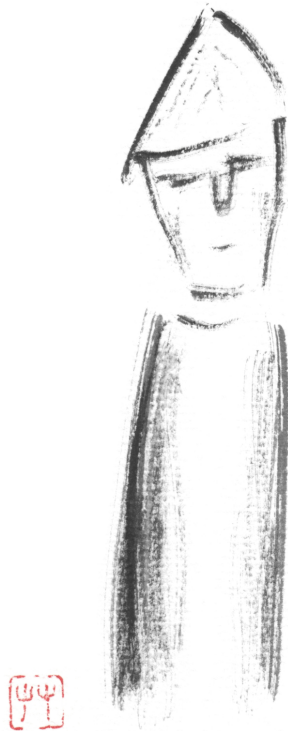
バ
オ
バ
ブ
を
盆
栽
に
し
て
秋
の
風



セネガルのバオバブ、アダンソニア・ディギタータ。



by Picca. バオバブは天に最も近い木。夢を最も茂らせる木。



by Jamm. 丈高くあれ、バオバブ（木）も俳句（人間）も。



by Picca. アフリカの鳥。飛ぶのは魂、ヴィジョンだ。

バオバブ

バオバブが天へ伸び

アフリカの夜は

バオバブが星を突らせている

と見てきたようなことを言う

でも見たのだ

ンバラの里ではなかったけれど

雪雲に覆われた北陸の夜に

溜池に囲まれた播磨の夜に

幻想はかんかん照りの砂漠に咲く

○

バオバブは

露地栽培は無理

だから盆栽になる

世界で一番高く大きな木が

世界で一番低く小さな育てられ方をする

それとは別に

どこか無人の小惑星にでも行って

こっそり植えてきたい

バオバブは

ほんとうはすてきな木なんだから

緑の美しい星になるだろう



by Sabar. アフリカには女神の数だけ音楽とダンスがある。



by Sabar. わたしの天地、わたしの鼓動、わたしの舞踏。



by Sabar. 瓢箪からは駒も音楽も出る。コラの音は銀河の星のように瞬く。



by Jamm. トーキング・ドラムは地球を駆ける魂の言語。



2018.12.8 Baobab Trio

Sabar, Picca, Jamm, 三本の合作。PDF「Baobab Trio」公開記念。

草話

バオバブは憧れの木。アフリカのサバンナに生える世界で一番高い木。中でもセネガルとマダガスカルが名高い。

そのセネガルの音楽が好きである。伝統を継承しながらのモダンなポップス。

ナイジェリアのジュジュと、セネガルのンバラは地域性と国際性、個と世界、過去―現在―未来の接点を示唆してくれた。それが風羅の旅の大きな導きともなった。そう言えば、ふうらの衣装は、どこかアフリカの貫頭衣にも似て、知人がぼくのためにそれらしい一枚を縫ってくれたこともあった。

*

セネガルの音楽に出会ってから三十年後に、セネガルのバオバブの種を手に入れて夢を播いた。十一粒の内、発芽した三つにウオロフ語で名前をつけて、鉢植えで育てた。こんなふうなメモがある。

へアフリカの陽光に生まれて、日本の陰影に育つ……彼らの魂はどちらにあるのだろう。そんなことを考えていたら、セネガルでも日本でもない、ぼくらにあるのはバオバブの魂だけ、と答が返ってきた。へ

バオバブは残念ながら二度目の冬を越せなかったが、三本の形見の筆を残してくれた。それが木ペンの第一号となった。今夏もオーケストラ・バオバブの音楽を聴きながら絵を楽しんだ



バオバブの種

俳句 白山鳥翁 / 絵 艸々子 / 詩 泉井小太郎

草画帖 第40号 2021年8月29日 泉井小太郎編集 六角文庫発行
〒675-2312 兵庫県加西市北条町北条1039 Tel 0790-42-6008